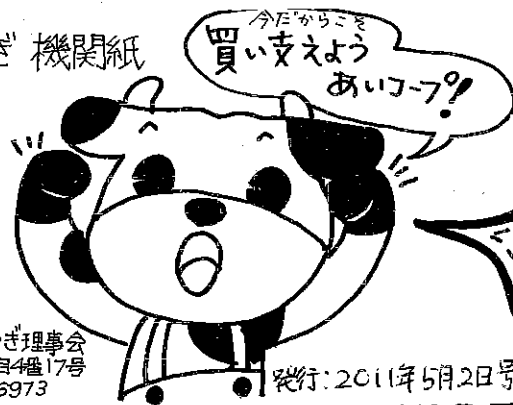


あいあいあい

あいコープみやぎ
coop

〈発行〉生活協同組合あいコープみやぎ理事会
〒983-0035 山形市宮城野区日の出3丁目4番17号
TEL.022-284-7241 FAX.022-284-6973
http://www.mamma.coop



発行: 2011年5月2日号

総代会は
7月7日(木)
ハーネル仙台にて。
青葉区本町

特集

子どもたちを放射能から守るために...

『どうやって身を守るの?』

4月24日のふんぶんカフェ
Vol.2 報告

ふんぶんカフェvol.2「今だからこそ 知ろう しゃべろう 原子力発電」が4月24日に開催され、54人の参加がありました。参加したお母さんたちは、福島原発事故による小さな子どもたちへの放射能の影響を心配し、幼稚園や保育園に話したそうです。しかし「行政からの指導がない」「外遊びが子どもの成長に重要」「放射能に対して過敏すぎるのではないか」と言われ、「雨の中、園庭に咲く花を摘んで、その蜜を吸って遊んだ」と表情も硬く、切羽詰まった様子が伝わってきました。

被曝は微量でも影響があります。放射線に敏感な子どもは尚更です。それなのに文科省は福島県内の保育園、幼稚園や小中学校を利用する際の基準を年間20ミリシーベルトとし、これは野外で1時間当たり3.8マイクロシーベルトに相当すると示しました。この値は、労働基準法で18歳未満の作業を禁止している「放射線管理区域」(1時間当たり0.6マイクロシーベルト)の約6倍の線量を子どもに強要することになります。

私たちは政府の言うことを鵜呑みにするのではなく、自分で学習して知識を得ること、情報収集と情報交換をすることが大切です。

- ① 宮城県が公表している環境放射線のモニタリングデータをチェック。大まかな環境放射線量を知り、モニタリングの位置、福島原発と自分との距離などを知るとよいです。
- ② 天気予報を見る。天気と同時に主たる風向きや風速を知りましょう。風速を知るのは、福島原発で再び火災が起きたり、爆発が起きたりした時に、どれくらいの時間で到達するかを知ることができます。
- ③ 雨に当たることを極力避けるように。どうしても外出する必要があるときには、フード付きの服、マスク、傘などで当たらないようにしましょう。
- ④ 晴れた日でも環境放射線が高い地域は、買い物など時間を短くして、マスクやフード付きの服を着ていくとよいでしょう。
- ⑤ 帰宅したら外出に使用したコートやズボンや玄関の所定位置に掛けておき、なるべく部屋に持ち込まないようにしましょう。

内部被曝を減らすために...

防御策をとって、少しでも安心して暮らしたいですね。参考にしてください。

【水道水】

1Lの水に対して1gの炭を砂粒くらいに砕いてガーゼにくるみ水の中に入れる。一晩経ってから使う。ヨウ素は炭に吸い取られる。炭はゴミ箱に捨てる。

【食べもの】

安全なヨウ素で甲状腺が満タンになっていれば、放射性ヨウ素は吸収されずに排出されていく。海藻をあらかじめ食べておくこと。たくさん食べなくてもいい。昆布で味噌汁のだしをとるのもいい。きちんと毎日、伝統的に食べてきたようにすればいい。

【空気】

放射能は空気中のチリにくっつきやすい。花粉用のマスクをする。マスクの内側に濡らしたガーゼかハンカチをすれば尚よい。ヨウ素は水に溶けやすいので、濡らしたガーゼにくっついて溶けてくれる。

福島原発事故は、収束にも時間がかかります。
福島原発の状態を常に気にかける事が大切です。

〈特集担当: 理事 鈴木智子〉

「大丈夫って本当か? 健康に問題ないって本当か?」ネット検索キーワード集

- * 農水省 ポータル * 宮城県庁 * eシフト
- * 原子力資料情報室 * フクロウの会 * 小出裕章 まとめ

生産者支援カンパのお願い

被災生産者への支援カンパをお願いします。

沿岸部を中心に、多くの生産者が被災し、苦境に立たされています。私たちの「食の自給と安全」は、生産者の存在なくしてはあり得ません。生産者へのお見舞、支援のためのカンパへのご協力をお願いします。

生産者支援カンパ 申込番号 000701 1口 200円
ポイントをカンパにする場合 → 申込番号 222223 1口 500ポイント
(※ 注文番号欄に申込番号、個数欄に口数を記入してください。ネット注文も同じです)

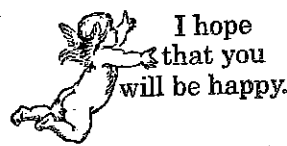
5月29日(日)
13:00~16:00
会場未定
Vol.3

原子力や自然エネルギーについて、基本的な学習会。
ゆる〜り おしゃべりをします。

問い合わせ先 → cafebunbun@gmail.com



あいコープが『今、できること』



I hope that you will be happy.

組合員からのメッセージ!!

震災後に届いた組合員からあいコープへの応援メッセージがたくさんあります。職員は、これを読んで頑張っています!!

鈴木利成 配達担当様

いつもたいへんお世話になっております。3月11日の個配の直後に大津波警報が出ました。配達の方々が戻って来られ、避難する様声をかけて下さり自宅にいた母と長男、愛犬は無事高台にある小学校へ逃げることができました。本当にありがとうございます。「配達さんのおかげで おばあちゃんを早く連れて出ることができた」と長男が申しておりました。おばあちゃんも歩くのに時間がかかりその時は車の渋滞もあって、なかなか思うように動けず、迷っていたら間に合わなかったと思います。後から配達の方も無事だったと聞いて 家族全員で喜びました。おかげ様で。ありがとうございます。(M.S さんより)

Sさんへ

本当に助かってよかった。あの時、私もビクビクしていました。でもバタバタと避難をしている方がいた時に、私もラジオで「海沿いの方はいますぐ避難を」という警報を聞いて、Sさんの事が心配になりました。結果として、津波から助かったということを知り、すごく嬉しく思います! 私は津波に遭遇し、流されましたが、なんとか自力で奇跡的に助かりました。私はこれから津波のトラウマと戦いながら、あいコープを通じて多くの組合員さんがいつもの生活に戻るように、またいつもの笑顔が取り戻せるように頑張りたいと思います!! (鈴木利成 配達担当より)

地元のもの、被災地のものを中心に買って、支援しつづけていきたいと思います。
「にわりのつゆ」の再開を楽しみにしています (M.Kさんより)

あいコープのみんなへ、生産者の皆さんへメッセージを!!

コース	組合員番号	お名前

※あいあいあい掲載 OK・No 実名掲載 OK・No (まごころ)

※切り取って配達、またはFaxで。あいコープHPからもメッセージが送れます。
Fax 1020-849-324 http://www.mamma.coop 広報担当宛

5月1回の「まなま通信」で、取り扱い品目が大幅に増えました!!毎週の利用をお願いし、現在のあいコープは震災前と比べて、一当たりの利用高が約7割、利用人数が8割くらいに落ち込んでいます。あいコープは、今とても厳しい中にも、今後も続けていけるよう毎週のコンスタントな利用をお願いし、今こそ『買い支え』の時です。そして組合員のお声かけで、お友達を増やしていきましょう!!

♡と郷みつば会を励ます「お好み焼きパーティー」をしました。4月22日、日の出センターで、みつば会など地元生産者が大勢集まり、お好み焼きパーティーをしました。お好み焼きはBM技術者協会の生田理事長や米沢郷牧場の方々が焼いてくださいました。

♡塩釜市の町内洗浄作業が始まりました。あいコープはこれを受けて、リサイクルセッケン「けいから」を届けました。「石けんは自然へかえり、海を汚しません。魚のえさにもなります」と牛渡と「素晴らしい洗浄剤!!」と大歓迎されました。今後もこの活動を続け、石けんの和を広げていきます。(理事・砂子啓子)

♡生産者組織「共生会」(会員数184)は被災会員への支援カンパに取り組み、沿岸部を中心に被災した16会員へお見舞金を手渡しました。

たいせつなこと♡

by 石けん環境委員会 / 理事 高崎 かおり
石けんのお悩みはこちら → Welcome.Kai.factory@docomo.ne.jp

『今こそ、石けんを広げるチャンス!!』

被災地では、海の底に溜まっていた汚泥が津波により陸に上がり、この汚泥に含まれる化学物質に被災者の皆さんは、今苦しんでいます。そして、今回の地震で仙台市衛生浄化センターと塩釜浄化センターが甚大な被害にあいました。仙台市からは通常の処理が不可能なため「節水」のお願いがなされています。更に一部の地域で、マンホールから下水が溢れ出す可能性があるので、環境負荷低減への協力も出されています。この2つを話題に「石けん」を広めましょう!!

- 節水のコツ ●●●
- ① 台所の洗い物をやる前に、油汚れなどはウェス(不織布、新聞紙など)でふきとって!!
- ② 石けんをスポンジでよくあわだてて洗います。
- ③ 7エン酸水(水200mlに対して小さじ2程度)をスプレーボトルにつくり、石けんのぬるぬるにシュッとひとふきすると、成分が中和され少ない水できゅっきゅつと洗いきれ上がります。



環境負荷低減 + 節水 = 石けんです!!

生産者被災地へお見舞い訪問

多賀城塩釜地区、七ヶ浜利府の「しあさい地区」は、津波の被害が大きく、地震被害が少なからず、委員数名で今出来る事をしよう!!と活動を始めました。そして多賀城にお住まいの「あさひの味」の李さん宅へ4月20日、差し入れに行きました。まだガスが使えず、固い野菜の調理ができないとのことだったので、根菜たっぷりの豚汁をお届けして喜んでいただきました。また、七ヶ浜のご自宅が半壊した地区委員さんがいて、そのご近所さんが避難している公民館へ食料を届けに行きました。定期船が断られた塩釜の離島へ地区委員の知人を通じ、自治体より早く食料物資を届ける事ができました。パルシステム組合員の皆さんからの支援物資のタオルも離島に届け、島民の皆さんの自衛隊の入浴支援のときに使わせて頂くことができました。ありがとうございます!! (しあさい地区理事・黒田 由紀子)

